



# MRP

## ユーザーマニュアル

### D-MOUNT MODEL

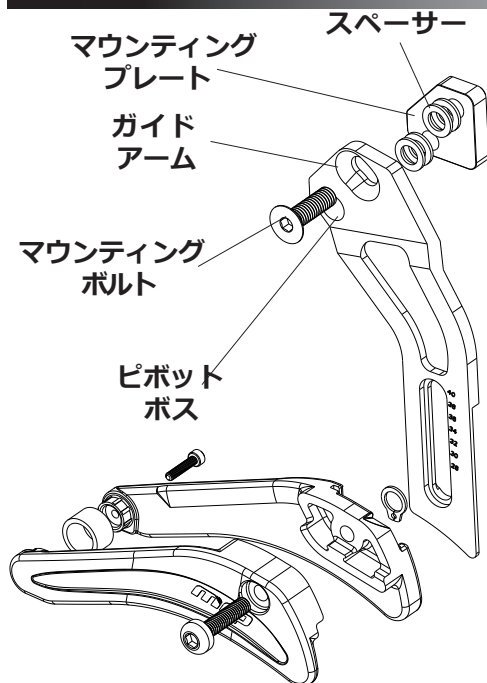
#### 消費者向けの安全に対する大切な情報

警告：自転車に乗ることは危険がつきまといます。それが正しくお手入れ、点検されていない自転車や部品であればなおさらです。  
この説明書に目を通されないこともまた危険な行為となります。

1. この説明書で表記されていない改造や調整は行わないで下さい。
2. 自転車に乗る前には毎回チェーンガイドの点検を行って下さい。その際過度なすり減りや変形、ヒビなどの兆候がないか見て下さい。何かしら異常を見つけた際は乗車を止め、完璧な点検と修理の必要性を確認するため購入店へ持ち込むかMRPに問い合わせして下さい。
3. 乗車時は常に頭にあったヘルメットなどの適切な安全用装備を着用されることを推奨します。無灯火での夜間走行は決して行わないで下さい。
4. 必ずMRPの純正部品をお使いください。2次市場の交換部品の使用、アップグレードは保証が無効になり、構造上の破損を招く恐れがあります。

MRPの取り付けは最寄りのショップの熟練したメカニックにお願いして下さい。自分で取り付ける場合も、装着後ショップにて見てもらうことをお勧めします。

## 1

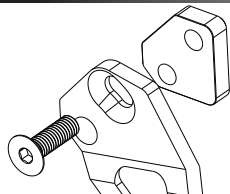


### 互換性

Dマウント仕様の1xガイドは大半のシングルリング専用もしくはトリプルリング用クランク(アウターとインナーリングを取り除きます)と互換性があり、通常のマウンテンバイクでは49-51mmの、大半のファットバイクでは62.5-64.5mmのチェーンラインを収容できます。ダブル用のクランクでシングルリングで使う場合、Dマウント使用の1xガイドはチェーンラインの幅的に互換性がありません。市場にはこの非互換性を解消出来るオフセットされたチェーンリングが幾つか用意されています。

Dマウント仕様の1xガイドにはピボットボスに通すマウンティングボルトに使う(マウンティングプレートとガイドアームの間へ挿入)1mmスパースが付属しています。

2



マウンティングプレートとガイドアームを一緒に持ち、マウンティングボルトをガイドアーム上部のそら豆状の穴に通します。この開口部はガイドの覚悟調節を考慮されたデザインとなっています。

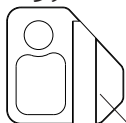
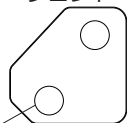
3

マウンティングブラケット

フロント

サイド

リア



ピボットボス

タン

フレームのフロントディレーラーマウントを確認し、マウンティングプレートとの間でタンと溝状のインターフェイスを一行に並べて下さい。並べたら5-6Nmのトルクでマウンティングボルトを締め込んで下さい。

4



アッパーガイドボルトをはめ込まれたスライダーナットから緩め、ガイド中ほどまで引き抜いてから、アッパーガイド自体を回転させ開きます。

5



クランクセットとチェーンを取り付けます。アッパーガイドを元に戻し、ガイドボルトを入れ直します。ガイドボルトは1.2-1.3Nmのトルクで締め込んで下さい。バックプレートにはガイドの垂直位置を決める手助けとしてレーザーエッチングが施されています。チェーンとアッパーガイドの天板の間にはおおよそ3mmの感覚がなければいけません。

6



ガイドの角度が正しいかを確認して下さい。チェーンはリアカセットの真ん中に載っている時にアッパーガイドの中央になければいけません。チェーンが最も大きな、もしくは小さなカセットコグに載っている時、チェーンとアッパーガイドの間には若干の接触、もしくは接触がない状態でないといけません。必要があれば付属のISCGスパーサーと1mmBBスパーサー(BBマウントガイド用)を使って微調整してください。\* 調整に際してはここから逆の行程を踏んでいただき、再度ステップの最初からの行程を踏んでいただく必要があります。

7



全ての締め具が適切に締め込まれているか、そして取り付け部品のどこにも不必要な摩擦や接触がないことを確認して下さい(図J)。フルサスペンションの自転車に装着する際は、リアショックの空気や金属バネを取り除き、完全にストロークさせて干渉具合を確認して下さい。確認が終わったら安全な場所で機能性の確認を行って下さい。

より詳しい情報に関しては本国サイト(MRPBIKE.COM)をご覧ください。また不明な点がありましたら、本国サイトもしくはモトクロスインターナショナルまで問い合わせください。